

まなざし

令和2年度
立山町立釜ヶ淵小学校
第2学年 学年だより
6月号

自然にふれることを通して…

野菜の苗を植えるタイミングとしては、ぎりぎりの5月末から始まった分散登校。張り切って登校してきた子供たちは、学年の畝に夏野菜の苗を植えました。キュウリやナス、ミニトマトなど、何種類もの野菜を植えました。苗の植え方ビデオを見て家庭でも定植してきた子供たちは、上手な手つきで、大切に野菜の苗を植えました。

野菜を植え終わった後のYさんの感想です。

きょう、わたしは、ナスとトマトと青じそ、スイカのなえをうえました。水をあげたり、わらのベッドをつくってあげたりしました。なえをうえるのは大へんだったけれど、みんなでやったのでたのしかったです。大きくなったら、みんなでしゅうかくして食べたいです。

Yさんは、「水をあげたり、わらのベッドをつくってあげたり」というふうに、野菜の苗を人間のように思って大切にお世話したことが分かります。わらのふかふかした感触を「ベッド」という言葉にたとえたところに、すてきな感性が表れています。また、みんなで苗を植えたことに、学校で共に学べる喜びを感じ取ることができたところにも、Yさんのすてきな心を感じました。



Aさんの感想です。

きょう、わたしは、トマトをうえました。あつくて大へんだったけれど、なえをうえることができてよかったです。水と太よの光をあびて、元気で大きなトマトになるとしんじます。かぞくみんなで食べたいです。

Aさんは、「水と太よの光をあびて」というイメージをもちながら、元気で大きなトマトになってほしいと思ったのでしょう。「しんじます」という強い意思を表す言葉から、自然の中で育つトマトの生命力を感じているYさんの感性の豊かさがうかがえました。また、家族と共に食べたいという心もすてきです。

このように、2年生では、自然に関わる体験を通して、豊かな感性が育くまれるように植物の栽培に取り組みます。主に、生活科や学級活動の時間に「自分たちの畑を自分たちの手でつくり上げる」、「おいしい夏野菜を育てる」、「花壇の花たちがきれいになるよう、水やりや除草のお世話をする」などの活動から、「自然を敏感に感じる心」、「命を大切に作る心」を養っていきたいと思います。



最後に、『庭仕事の愉しみ』や『車輪の下』など、数多くの有名な作品を書き記した、文豪ヘルマン・ヘッセの話をします。

ヘッセは、9歳の頃、母から自分で植物を植えて世話をするようにと、生家の裏の小さな段々畑の一部を任されました。その頃から、心に抱き続けてきた庭を持つという願いを長男が生まれた2年後にかなえます。生涯で、最初に持った自分の庭でした。

やがて、ヘッセは、4歳の息子にも自分と同じように、庭仕事の道具を一式与えて庭仕事をさせ、自然とじかにふれ合わせたそうです。なぜなら、ヘッセは、幼年時代の植物の世話を通して、生物にみられる生長や循環の法則などを体験から学んでくれるものだと確信していたからです。春に植物が芽をふき、夏に大きく成長し、秋に枯れ、冬には眠りにつくといった自然界に掟のあることを。

ある日、ヘッセがごみをいつものように燃やすために、たき火をしようとした時、マッチがありませんでした。それを見ていたヘッセの息子は、どこかに走って行き、キンレンカの花を持って帰ってきて、ヘッセにこう言いました。「ほら、パパ。ここに、火があるよ」と。キンレンカの花を「火」にたとえたことに、ヘッセは喜び、自然に関わる体験を通して、感性豊かに、言葉に表すことができるようになった息子に満足したそうです。



＜キンレンカの花＞

2年生にも、ヘッセの息子のように、継続して自然に関わることで、すてきな感性を身に付け、心豊かな人生を歩んでいけるように育ってくれることを期待します。

ボランティア活動、開始！



4日（木）の朝の渕水タイム。ボランティアの時間が始まりました。前日に「ボランティアって、なあに？」ということで、話し合いの時間をもち、一人一人が自分で考えたボランティア活動に、すぐに取り組み始めました。

中庭をきれいにしたいと草や枯れ枝をきれいに集めたKさんやRさん、Hさんたち。鯉の池をきれいにしたいと藻を取り除くFさんやSさん。家から持ってきた袋を

下げ、友達と楽しそうに活動し、ごみ袋いっぱい草や木の枝、藻などを集めました。

活動後、どれだけ満足できたかについて、Tさんの取組を基に交流しました。「人それぞれだから、Tさんは楽しくなかったかもしれない」というSさん。「活動は、大好きな人もいないし嫌いな人もいないから、ふつうかな」というFさんたち。「Tさんは、結構集めて中庭がきれいになったから、気持ちがすっきりしたんじゃないかな。だから、とても満足しているんじゃないかな」などというHさんやSさん。最後に、勢いよくみんなの前に出てきたTさん。「いっぱい取れて中庭がきれいになって、とても満足したよ！」と叫びました。自分の取組をみんなに分かってもらえて、うれしそうな表情でいっぱいでした。

